

「歯科注射用メピバカイン塩酸塩製剤の使用状況に関するアンケート調査」の概要

わが国では歯科症例の 90% 以上でアドレナリン添加リドカイン製剤が使用されていますが、アドレナリンはカテコールアミンのために循環系への影響が否定できません。これを避けるために、プロピトカイン塩酸塩製剤やメピバカイン塩酸塩製剤の使用が勧められています。メピバカイン塩酸塩製剤は血管収縮薬が添加されていないため、作用持続時間は約 30 分と短時間ですが、最大麻酔効果はアドレナリン添加リドカイン製剤に匹敵する強い効果を持っています。しかし、その適応は制限されています。そこで、歯科注射用メピバカイン塩酸塩製剤の使用実態を調査することを目的として、歯科大学・歯学部附属病院の歯科麻酔指導医を対象としてアンケート調査を実施します（研究期間：平成 26 年 12 月 31 日まで）。

本調査で得られたデータは匿名化の後に厚生労働省へ資料として提出しますが、それ以外の目的では一切使用いたしません。また、公表もいたしません。